農業政策の比較（各党参議院議員選挙公約より）

	自由民主党	立憲民主党
農政の基本的方針	・農林水産業を成長産業化することで、美しい地域の伝統文化を守り、活力ある地域をつくる ・規模の大小や中山間地域といった条件に関わらず、所得向上や生産基盤の強化を図る ➡ 安倍政権以降、農業従事者激減、再生利用困難な荒廃農地激増	・規制緩和と競争力強化に偏重してきた農政から脱却し、多種多様な農業者が共生する多様な農業のあり方を支援
水田活用直接支払交付金	・水田活用の直接支払交付金等により、畑作物も含めた需要に応じた生産を推進 ➡ 5年間水張りしない場合は対象外とする突如の見直しで現場混乱	・水田活用直接支払交付金は法制化し、恒久化を図る ※農水省への申し入れ、国会への法案提出を実施！
戸別所得補償制度	➡ 記載なし 安倍政権下で ・米の直接支払交付金廃止 ・米の生産調整廃止	・戸別所得補償制度を復活させ、米の生産調整を政府主導に戻す
米の需給対策	➡ 記載なし 需要低迷で米価下落が続く	・緊急的な特例措置として、政府備蓄米の枠の拡大により米の過剰在庫を市場から隔離し、需給を安定化 ・ミニマムアクセス米の輸入は、受入れ停止・見直し